

大阪府立大冠高等学校 創立 40 周年記念式典を

ここ高槻現代劇場大ホールにて開催いたしましたところ、

大阪府教育庁 教育振興室 高等学校課長 林田 照男 様をはじめ、

府立学校 校長会事務局 府立芥川高等学校校長 神 絵里香 様、府立学校の設置者である大阪府 府議会議員、市来 隼 様、野々上 愛 様、吉田 忠則 様、

また、近隣の府立高校・地元中学校の校長先生方、大冠高校同窓会、冠友会等、数多くの本校関係者の皆様に、ご多忙の中、ご臨席いただいております。

本日ここに、創立 40 周年という記念すべき日を迎えられたことは、ひとえに皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、高い処からではありますが、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、10 年区切りの記念式典、今回開催するにあたり、この 10 年間を振り返ってみました。この 10 年間を一言で表現すると、ダイバシティーとインクルージョン。大冠魂を再構築したターンだったのではないのでしょうか。11 年前の平成 26 年 4 月より大阪府立高校では、学区が撤廃され、高槻市・島本町・茨木市等の旧第 2 学区以外にも、淀川の対岸、枚方市や寝屋川市等の旧第 4 学区から、また、本校で部活動をしたいとの思いから、府内のたくさんの中学校から本校を志願し、入学してこられました。義務教育 9 年間をそれぞれの地元で過ごした人達が、淀川を越え、また、旧学区を超えて本校に入学し、互いのアイデンティティをぶつけ、混じり合いながら、新しい大冠高校の歴史を刻んでこられました。そこには、

- ・第 99 回全国高校野球選手権大阪大会決勝。6 点差で迎えた 9 回表、粘りに粘り、2 点差まで追い上げ、意地を見せた硬式野球部。
- ・府内 200 校以上が参加する大阪高校選手権大会等で府内ベスト 16 に 3 度も勝ち進んだサッカー部。
- ・近畿総合文化祭徳島大会で、大阪代表として出場し、また、大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会で度々金賞を受賞した吹奏楽部。
- ・全国大会メジャーレット部門で優勝したバトントワリング部。
- ・近畿総合文化祭に作品を出展する書道部 等、

運動系・文化系を問わず、文武両立し活躍された先輩方の足跡をみることができます。これらの輝かしい活躍の背景には、生徒一人ひとりが、「大冠高校で楽しみたい、活躍したい」という強い思いを持ち、異なる文化、異なるアイデンティティを互いに「ぶつけ合い、混じり合い」ながらも、最終的にチーム the ベスト、大冠生としての自負を持ち、互いの思いを統合させた強い意志と努力がありました。

部活動以外でも、体育祭や文化祭等の学校行事に於いても、苦難な事への挑戦や限られた時間の中で創りあげる団結力は、今もしっかりと引き継がれています。

今回、このように記念式典を開催するにあたり、自分達も記念事業を創りあげたいと、生徒達が記念式典実行委員会を結成し、スローガンを考案してくれました。

それは、『Further Evolution～勉学・部活・行事そのすべてに本気(マジ)で挑む～』です。

実行委員会では、創立 30 周年の時に誕生した、
本校マスコット Kuran を立体化させるプロジェクトや、
記念式典第 2 部の企画や調整、この後、実際に運営もしてもらいます。そして、学校に残す物、その時自分たちが主役でしたって思いを記念品に残そう企画等、この間、時間を調整しながら、精力的に取り組んでくれました。このスローガンや、生徒達が主体となり、この記念式典を創り上げる姿勢こそが、大冠高校の現在を最も象徴していることだと思います。自らの学びと活動の全てに「本気（マジ）で挑む」という強い意志と、それを実行に移す団結力は、まさに諸先輩方が築き上げ、「ぶつけ合い、混じり合い」ながら確立した「大冠魂」の最たる処です。

一方で、私たちはこの 10 年、新型コロナウイルス感染防止のために、一斉臨時休業を経験し、また、学校再開後も 3 密を避ける、マスク越しの生活を余儀なくされる等、新たな生活様式での学校生活を強いられました。しかし、そのような状況においても、多様性（ダイバーシティ）を受け入れ、誰もが活躍できる環境（インクルージョン）を教育の根幹に据え、「大冠の新しい伝統」を築いてきたと自負してよいのではないのでしょうか。これこそが、本校が未来に向けて進む揺るぎない土台です。

今、この確固たる土台の上に立つ在校生の皆さんには、この「Further Evolution」の精神を胸に、未来へ向かって力強く歩んでいただきたいと願っています。変化が激しい社会において、皆さんが身につけるべきは、「自分の個性と、他者の多様性を尊重し、チームとして最高の成果をめざす力」、そして、「何事にも本気で挑み、最後まで諦めない粘り強さ」です。

大阪府立大冠高等学校は、創立 40 周年を契機として、「Further Evolution」を学校全体の 1 つの指針とし、教育環境の一層の充実と、地域への貢献・情報発信、国際交流を通じたコミュニケーション力の育成等、社会に貢献できる若者の育成に、全教職員が情熱をもって取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

結びに、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、そして、これまで本校の教育活動を支えてくださった旧職員、同窓会、冠友会、保護者、地域の皆様の多大なご厚情に、重ねて心より感謝申し上げます。今後とも、大冠高校のさらなる発展のため、変わらぬご理解と温かいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私の式辞とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

令和 7 年 11 月 1 日

大阪府立大冠高等学校
校 長 重松 良之